

経営比較分析表（令和5年度決算）

埼玉県蕨市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	透訓	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
75,646	6,866	非該当	非該当	10:1

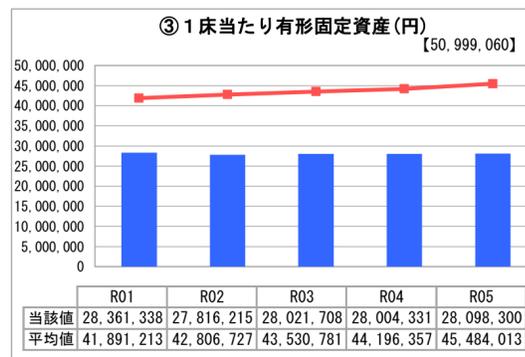
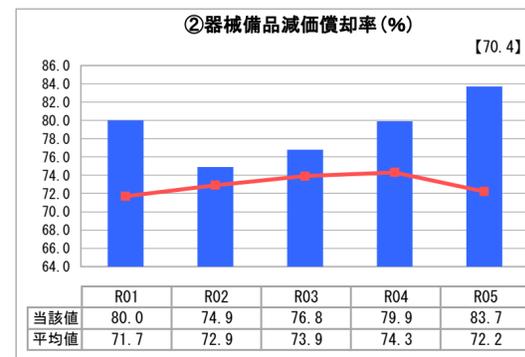
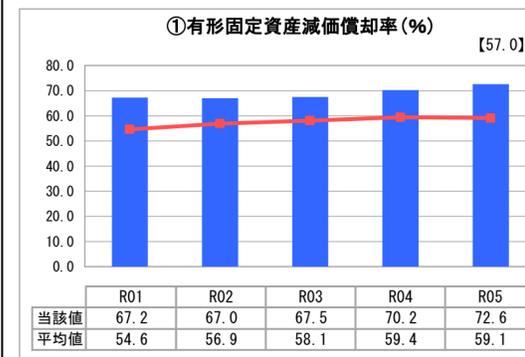
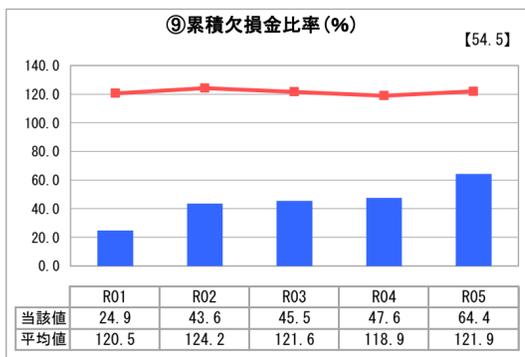
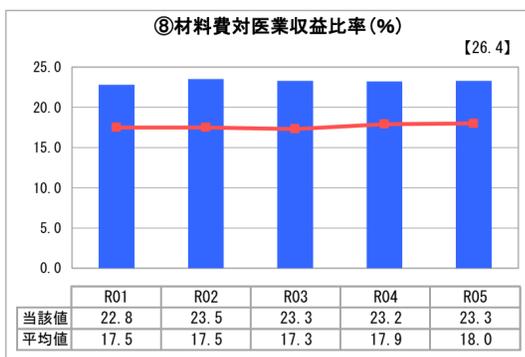
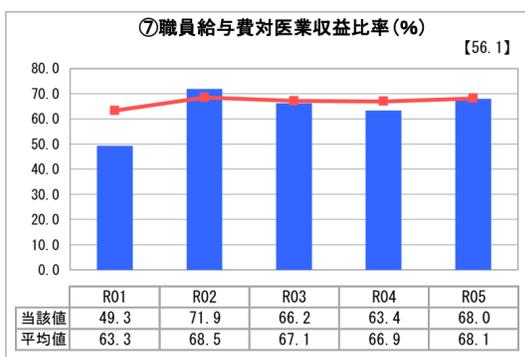
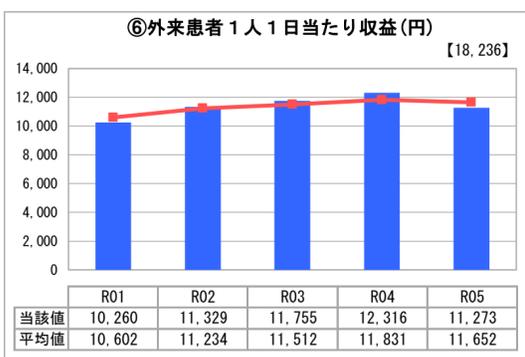
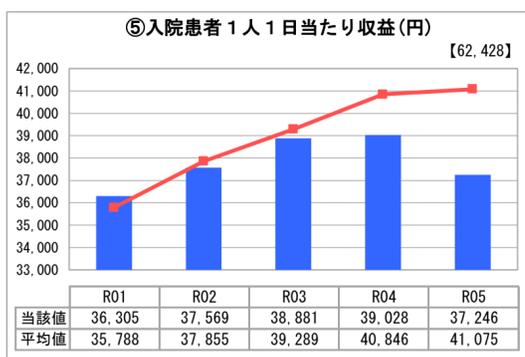
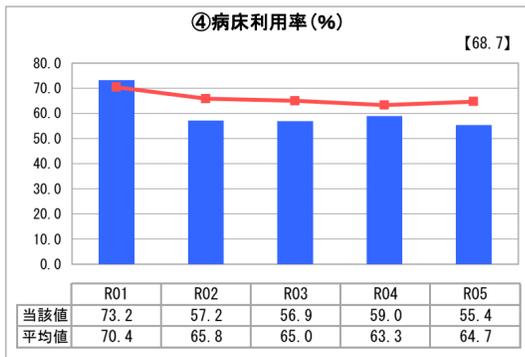
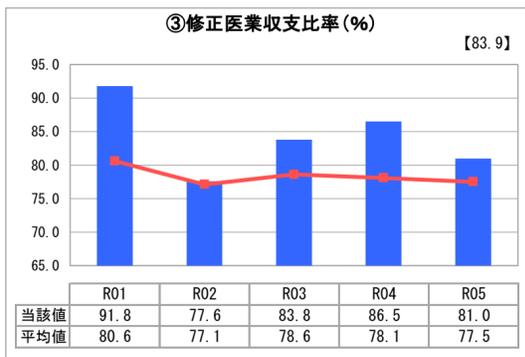
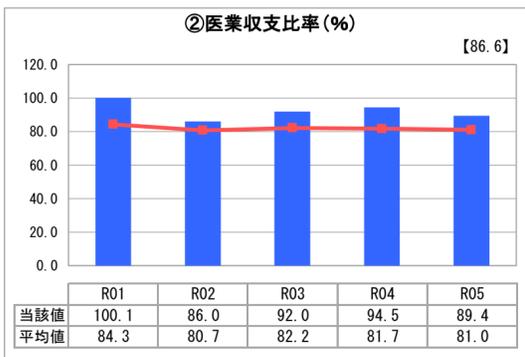
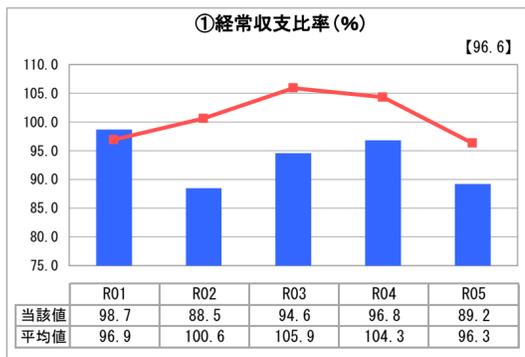
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
130	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	130
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
104	-	104

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は、市内で唯一の救急病院であり、分娩できる施設として、地域医療の重要な役割を担っている。不採算部門とされる小児科及び小児救急も行っており、公立病院としての役割を維持している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度は、患者数の減や新型コロナ関連の特例加算廃止等の影響により、入院・外来収益が減収となり、前年度を上回る損失を計上することとなった。
③修正医業収支比率は81.0%であり、類似病院の平均を上回っているが、減収分を補助金や一般会計負担金では補いきれず①経常収支比率は100%を下回り純損失を計上することとなった。また、医業収益の減少により⑦職員給与費対医業収益比率も高水準となっている。
なお、一般会計負担金については、基準外の繰入は行っていない。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率は、類似病院平均値を上回り、当院の有形固定資産は老朽化が進んでいると言える。
当院は現在、建物の移転建替え計画を進めており、今後の器械備品や設備の更新については、整備事業の進捗に併せて慎重に検討していく必要がある。

全体総括

令和5年度は、医師の退職や患者数の減少等により収益が減少し、経営に係る各指標が低い水準となった。⑨累積欠損金比率は類似病院平均を下回っているものの増加傾向である。
今後は、経営の健全化のため④病床利用率の回復及び⑤入院患者1人1日当たり収益を上げていくことで⑦職員給与費対医業収益比率、⑧材料費対医業収益比率の改善等、効率的な病院運営に取り組んでいく必要がある。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。